

## 【別紙】

### 「本件申立てに至った経緯」

私は、昭和54年12月に福岡県に生まれ、大学卒業の平成14年3月まで、福岡市内で家族とともに生活しておりました。大学卒業後、株式会社△△に入社のため上京、社会人としての新生活が始まりました。

配属された部門は拘束時間が長く、何かとストレスの多い職場でした。それでも入社1～2年時はまだまだ気力体力ともに充実していましたので、無我夢中で毎日を過ごしておりました。しかし入社4年目を経過した頃から、不眠を始め、無気力・うつ症状を自覚するようになり、次第に症状は悪化、遂には仕事に支障が生じるまで体調を崩してしまいました。

結局、平成19年6月に株式会社△△を退社、翌々月には実家のある福岡市に引き揚げ、治療と静養に専念することにいたしました。その後、若干、体調回復の兆しが見えたため、株式会社〇〇に派遣登録を行い、幸い派遣先もすぐに決まりました。しかし肝心の病状が根治しておらず、残念ながら1ヶ月で退職してしまいました。

平成20年1月以降、体調に不安はありましたが、福岡市内を中心に就職活動を始めました。私自身は実家暮らしで、かつ平成20年4月まで失業手当を受給しており、その当時は今ほど経済的に困窮した状態にはありませんでした。ただし、昨今の不況のあおりでなかなか内定がもらえず、再び上京して就職活動に励む決意を固め、その年の年末から転居準備を始めました。

#### ① 最初の借入れについて

平成20年12月30日にセリナから20万円をキャッシングし、上京費用の一部に充当いたしました。上京の際、転居費用や当座の生活費として、まとまった額の金銭援助を両親から受けておりました。この借入れについても、翌月完済しております。

#### ② 債務が増えていった原因

平成21年2月、再びセリナから20万円を借入れ、就職活動費を含めた生活費に充当いたしました。決心して上京したものの就職はなかなか決まらず、そのあせりから精神的に

不安定になり、自宅にこもりがちになってしまいました。

平成21年6月、プロミスと新規契約いたしました。早速その日のうちに5万円を借入れ生活費に充当いたしました。この時期に至り実家からの金銭援助が底を尽き始め、就職活動のかたわら、単発で週払いのアルバイトもしておりました。

平成21年9月にアロムから20万円を借入れ、主に生活費と他社への返済に充当いたしました。

平成22年5月、うつ症状の悪化で日常生活そのものが困難となってしまう、生活保護の申請をして、翌月からの受給が決まりました。

平成23年6月、気付けば借金の総額が200万円程に膨れ上がってしまい、これ以上自分だけの力ではどうにもならないと感じ、破産を申し立てる決意を致しました。

債権者の皆様には多大なご迷惑をお掛けして、本当に申し訳ございません。まずは心身ともに健康な体に回復できるように努め、少しずつ社会復帰を果たしていきたいと願っております。人生再生の機会を与えて頂きます様、何卒、よろしくお願い申し上げます。